

フラワーセンター

3月の花

2024年3月23日

①トサミズキ

(育苗温室の東側・ライフ館南側ユーカリの木付近)

NEW

マンサク科 落葉低木 原産：四国

トサミズキは葉が出るよりも先に、3月下旬から4月に、5~7個の丸みのある黄白色の小花が連なり花序になって下垂します。トサミズキは四国地方を原産としていますが、特に名前が示すように高知県内の山地の石灰岩地域に多く生育しています。



④サンシュユ

(イングリッシュガーデン北側入口付近の園路沿い)

ミズキ科 落葉高木 原産：中国・朝鮮半島

サンシュユは葉が開くより先に開花するため、株全体が鮮やかな黄色に包まれます。花は黄色い小花が30個ほどの花房をつくらせて開花します。秋には紅葉とともにサンゴのようにつややかな赤い実が楽しめます。



②オオシマザクラ

(バラ園東側、正門東側駐車場)

NEW

バラ科 落葉高木 原産：日本

幹の直径は50~200cm、樹高は10~15mほどに生長します。他の桜よりも強い香りを放つ花を、3~4月に咲かせます。葉っぱが出ると同時に花が咲くことが特徴です。ソメイヨシノよりも大きな白い花を咲かせます。



⑤クリスマスローズ

(イングリッシュガーデン北側入口付近他)

キンポウゲ科 常緑多年草 原産：ヨーロッパ

花の少ない1~3月頃に可憐な花を付けるクリスマスローズは、丈夫で育てやすく、開花期間の長い宿根草です。花のように見える部分は萼(がく)という器官で、本当の花は真ん中に小さく集まっています。



③クンシラン(展示温室)

ヒガンバナ科 多年草 原産：南アフリカ

クンシランは春に咲く豪華な花だけでなく、つややかな葉を一年中楽しめる多年草です。株の寿命が長いので、世代を超えて長年育て続けていく楽しみもあります。名前にランがついていますが、ラン科ではありません。



⑥修善寺寒桜

(紫陽花園とシャクナゲ園の間)

バラ科 落葉小高木

伊豆修善寺の修善寺境内に原木がある桜で、カンヒザクラとオオシマザクラの交雑種と言われます。花が大きく花色の桃色も濃いので目立ちます。



⑦ヒメリユウキンカ



⑧ツバキ



⑨スイセン



⑩ユキヤナギ



⑪カンヒザクラ



⑫チョウジガマズミ



【お願い】園内の植物の盗難が相次いでいます。園内の植物は絶対にとらないでください。

